



令和8年度 中目黒小学校 学校説明会

- 0 はじめに
 - ・児童数・学級数
- 1 目指す学校像・児童像
- 2 本校の特徴的な取組
- 3 おわりに



R8年 4月9日
校長 山本 真

0 はじめに(児童数・学級数)

【令和8年度】 (4/1現在)



○1年生	70名	2学級
○2年生	85名	3学級
○3年生	78名	3学級
○4年生	72名	3学級
○5年生	78名	3学級
○6年生	86名	3学級
☆総計	469名	17学級

令和7年5月1日

比較

- ・59名 減
- ・2学級 減

1. 目指す学校像



令和7年度 学校評価アンケートより

【学校の雰囲気】

Q1：子どもたちの学校での様子は楽しそうである。(保護者)

がっこうは、たのしいですか。(低学年)

学校は、楽しいですか。(高学年)

	令和7年度	令和6年度	令和5年度
保護者	93.3%	89.5%	89.2%
低学年	92.8%	82.1%	83.7%
高学年	90.1%	85.1%	85.7%

1. 目指す学校像



令和7年度 学校評価アンケートより

【教育活動全体】

Q4: 学校の教育活動には満足している。(保護者)

なかめぐろしょうがっこうが好きですか。(低学年)

中目黒小学校が好きですか。(高学年)

	令和7年度	令和6年度	令和5年度
保護者	92.0%	86.8%	86.4%
低学年	95.4%	88.6%	86.7%
高学年	88.6%	82.3%	81.6%

1. 目指す学校像



令和7年度 学校評価アンケートより

【心の教育】

Q6:学校は、道徳科の時間を含めた全教育活動を通して、命を大切にし、思いやりの心をもって生活する指導を行っている。(保護者)

いのちや人のきもちをたいせつにしていますか。(低学年)

命を大切にし、思いやりの心をもって生活していますか。

(高学年)

	令和7年度	令和6年度	令和5年度
保護者	82.8%	79.0%	79.6%
低学年	97.5%	93.4%	94.0%
高学年	94.9%	94.0%	97.5%

1. 目指す学校像



◎誰一人取り残さない教育の実現

「令和の日本型学校教育の構築を目指して」

～令和3年1月26日 中央教育審議会～

言葉だけでなく
全教職員で
具現化させていく

1. 目指す児童像



＝教育目標＝

- 明るい子
- 考える子
- たくましい子
- ◎ 思いやりのある子
(今年度の重点目標)

1. 目指す児童像



◎ 思いやりのある子
(今年度の重点目標)



具現化のために



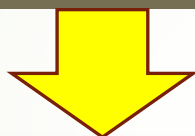
- これまでの取組の洗い出し
- 毎月の「ほっとウィーク【タイム】」の実践
- 中目黒小「ほっとアクション」の制定



1. 目指す児童像

＝教育目標＝

- 明るい子
- 考える子
- たくましい子
- ◎ 思いやりのある子



- ・規律を守る。
- ・多様性を尊重する。
- ・意欲的に交流しようとする。



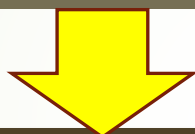
各学年
の目標
を設定



1. 目指す児童像

＝教育目標＝

- 明るい子
- 考える子
- たくましい子
- ◎ 思いやりのある子



- ・知識及び技能を習得する。
- ・自ら学び考え、課題を解決していく思考力・判断力・表現力を育てる。



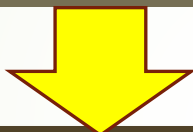
各学年
の目標
を設定



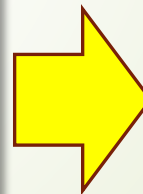
1. 目指す児童像

＝教育目標＝

- 明るい子
- 考える子
- たくましい子
- ◎ 思いやりのある子



- ・心身ともに健康である。
- ・あきらめずに根気強く取り組み組む。



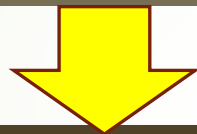
各学年
の目標
を設定



1. 目指す児童像

＝教育目標＝

- 明るい子
- 考える子
- たくましい子
- ◎ 思いやりのある子



- ・他者の生命及び人格を尊重する豊かな心情を育成する。
- ・規範意識を高める。



各学年
の目標
を設定

2 本校の特徴的な取組(1)



学校運営協議会(コミュニティ・スクール)

目黒区教育委員会では、「地域とともにある学校づくり」や「学校を核とした地域づくり」の一体的な推進を目指して、令和7年度から、各学校に学校運営協議会を順次設置し、令和11年度までに、全ての区立学校・園に、この協議会を設置することを目標としています。

中目黒小学校は、令和8年度から「学校運営協議会」を設置することで、コミュニティ・スクール(CS)となります。

2 本校の特徴的な取組(1)



学校運営協議会(コミュニティ・スクール)

【子どもたちにとって】

- 学びや体験の充実
- 地域への愛着を育む
- 身近な大人モデルの存在を知る

【学校にとって】

- 「社会に開かれた教育課程」の実現
- 子どもと向き合う時間の確保
- 生き方を考えるキャリア教育の充実

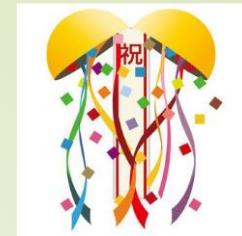
【保護者にとって】

- 地域に対する理解が深まる
- 地域の中で子育てする安心感
- 地域の方との人間関係が構築される

【地域にとって】

- 経験や特技を生かし生きがいにつながる
- 学校を核としたつながりの構築
- 地域の活性化

2 本校の特徴的な取組(2)



開校125周年

【取組案】

- 周年スローガン・マスコットの策定
- 開校記念児童集会の実施
- 周年に関する児童会活動の実施
- PTAからの記念品配布(Tシャツなど)

2 本校の特徴的な取組(2)



開校125周年

【取組案】

- 125周年記念運動会の実施
- 125周年記念学習発表会の実施
- 航空写真の撮影
- 記念リーフレットの発行 など

2 本校の特徴的な取組 (3)



40分授業午前5時間制

目黒区の施策として、小学校全校で実施

研究開発学校(小学校)の特例
1単位時間(40分)=1コマ

削減した5分

「**生み出した時間**」として活用

通常の小学校

45分×1015コマ(高学年の場合)

目黒区立小学校
研究開発学校

40分×1015コマ

生み出した時間

約127コマ

$5分 \times 1015コマ = 5075分$

○学校の特徴ある教育の時間

○教育の質向上のための教員の時間

2 本校の特徴的な取組 (3)



40分授業午前5時間制

- ・令和元～5年度

文部科学省研究開発学校

- ・令和4・5年度

目黒区教育委員会教育開発指定校

令和5年11月1日 研究発表会開催

令和8年10月23日

研究発表会開催

2 本校の特徴的な取組(4)

自律的な学び手の育成



40分授業午前5時間制

自律的な学び手の育成

生活のマネジメント

自己調整・自己決定

人材育成・研修

マイプラン
リフレクション

マイプラン学習
(単元内
自由進度学習)

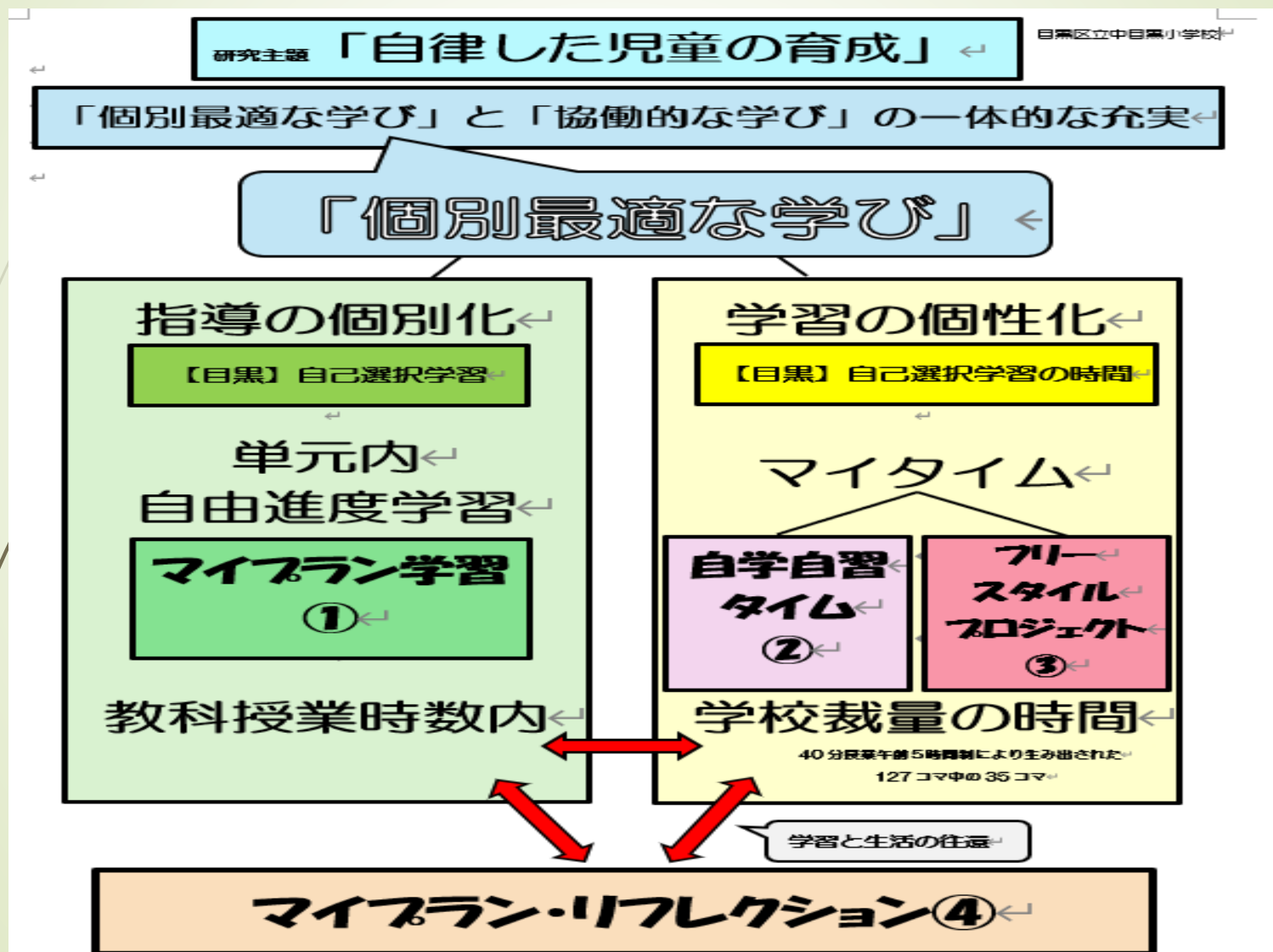
マイタイム
・自学自習
タイム
・フリースタイル
プロジェクト

チームOJT

令和の日本型学校教育

学校裁量の時間

2 本校の特徴的な取組(4) 自律的な学び手の育成



2 本校の特徴的な取組(4)



自律的な学び手の育成

自学自習タイムについて

★はぐくまれる資質・能力

自己調整力

自己実現力

学習を深め、
広げている

自己理解力

追究する力

2 本校の特徴的な取組(4)



自律的な学び手の育成

FSPJについて

★はぐくまれる 資質・能力

自己理解力

追究する力

学習計画力

学習を深め、
広げている

自己実現力

他者理解力

自己表現力

自己調整力

2 本校の特徴的な取組(5)



高学年教科担任制

【5年生】

- ・国語
1～3組→3組担任が指導
- ・社会
1～3組→1組担任が指導
- ・体育
1～3組→2組担任が指導

【6年生】

- ・国語
1～3組→3組担任が指導
- ・社会
1～3組→1組担任が指導
- ・体育
1～3組→2組担任が指導

- ・多くの教員で対応
- ・より専門性の高い授業の提供
- ・中学校への円滑な接続

2 本校の特徴的な取組(5) 高学年教科担任制



児童・教員・保護者アンケート結果(R7末)

児童

いろいろな先生が授業をすることについてどう思うか。

【R6】非常に良い・良い 87.7% → 【R7】非常に良い・良い 93%

教科担任制を導入した昨年度はメリットを感じつつも戸惑いがあった。

2年間で児童が感じている良さや課題、教師、保護者の思いをアンケート結果から分析する。

多くの先生が授業をすることに肯定的な意見が増えたことの要因を分析すると以下の3点が挙げられた。



専門性の高い授業

- ・専門性が高いので、内容が分かりやすい。
- ・飽きずに楽しい。
- ・詳しく質問に答えてもらえる。
- ・気付きがあり、学びが深まる。

教員との関わり

- ・多くの先生と関わるができる。
- ・相談しやすい先生が増える。
- ・自分に合う先生を見付けることができる。

学びの幅

- ・自分に合った学び方を見付けることができる。
- ・様々な学習の仕方が学べる。
- ・様々なやり方の授業を受けることができる。
- ・中学校への準備ができる。

R6・R7年度に中学一年生を対象として教科担任制に関するアンケートを実施し、小学校で教科担任制を経験していない生徒(R6)と経験している生徒(R7)を比較した。その結果、R7年度の生徒では、「小学校と変わらない」「特に何も感じない」といった回答が多く見られた。このことから、教科担任制は中学校の学習環境への円滑な接続につながっていると考えられる。

「教えられる存在」から「自ら学びに向かう存在」へ変化している。

2 本校の特徴的な取組(5) 高学年教科担任制



児童・教員・保護者アンケート結果(R7末)

教師

教科担任制という取組についてどう思うか。

【R6】非常に良い・良い 77.8% → 【R7】非常に良い・良い 93.8%

教材研究の時間の確保・軽減

- ・担当の教材研究の時間が確保でき、質の高い授業をすることができる。
- ・授業改善をすることができ、指導力の向上につながる。
- ・自分の担当する教科に集中して事前準備ができるため、教科の専門性を高めることができる。

多くの目で児童をみる

- ・児童の安心できる居場所を増やすことができる。
- ・学級担任だけではなく、学年や専科全体で児童をみることができる。



2 本校の特徴的な取組(5) 高学年教科担任制



児童・教員・保護者アンケート結果(R7末)

保護者

高学年教科担任制は、子どもたちに専門性の高い魅力ある授業を提供し、高学年の学力の定着において成果を上げている。

【R6】よくあてはまる・あてはまる 51% → 【R7】よくあてはまる・あてはまる 58%

★ポジティブな意見★

子どもたちにもメリハリがあるし、学年のどの先生と話しても我が子のことを知っていて、教えてくださるので、様々な子どもの姿が見え、安心感もあります。専門性の高い授業を受けられることに感謝しております。

★ネガティブな意見★

現時点では、子どもが特に困っている様子もなく、一定の良さも感じていますが、学習の向上を実感できるほどの情報や比較材料がまだありません。

→継続的に情報発信に努める。

2 本校の特徴的な取組(6)



異校種間の連携

【小・中の連携】

- ・小学校・中学校のより緊密な連携を図ることで、9年間の一貫性・連続性のある教育を展開する。

目黒中央中学校区：中目黒小・油面小・五本木小・鷹番小・上目黒小

「小・中連携子ども育成プラン」の
作成・実施

年3回の「小・中連携の日」の
開催・連携

小・中教員の相互乗り入れ授業の
試行的実施

運動会等での中学生ボランティア
中学生の職場体験学習の受入

「いじめ問題を考えるめぐろ子ども
会議」の開催・交流

2 本校の特徴的な取組（6）



異校種間の連携

【幼保小の連携】

- ・幼児期の遊びを通じた学びから小学校での教科学習に円滑に繋げていく。

「幼保小の架け橋プログラム」の考え方に基づいた実践

就学前施設での5歳児の
「アプローチカリキュラム」



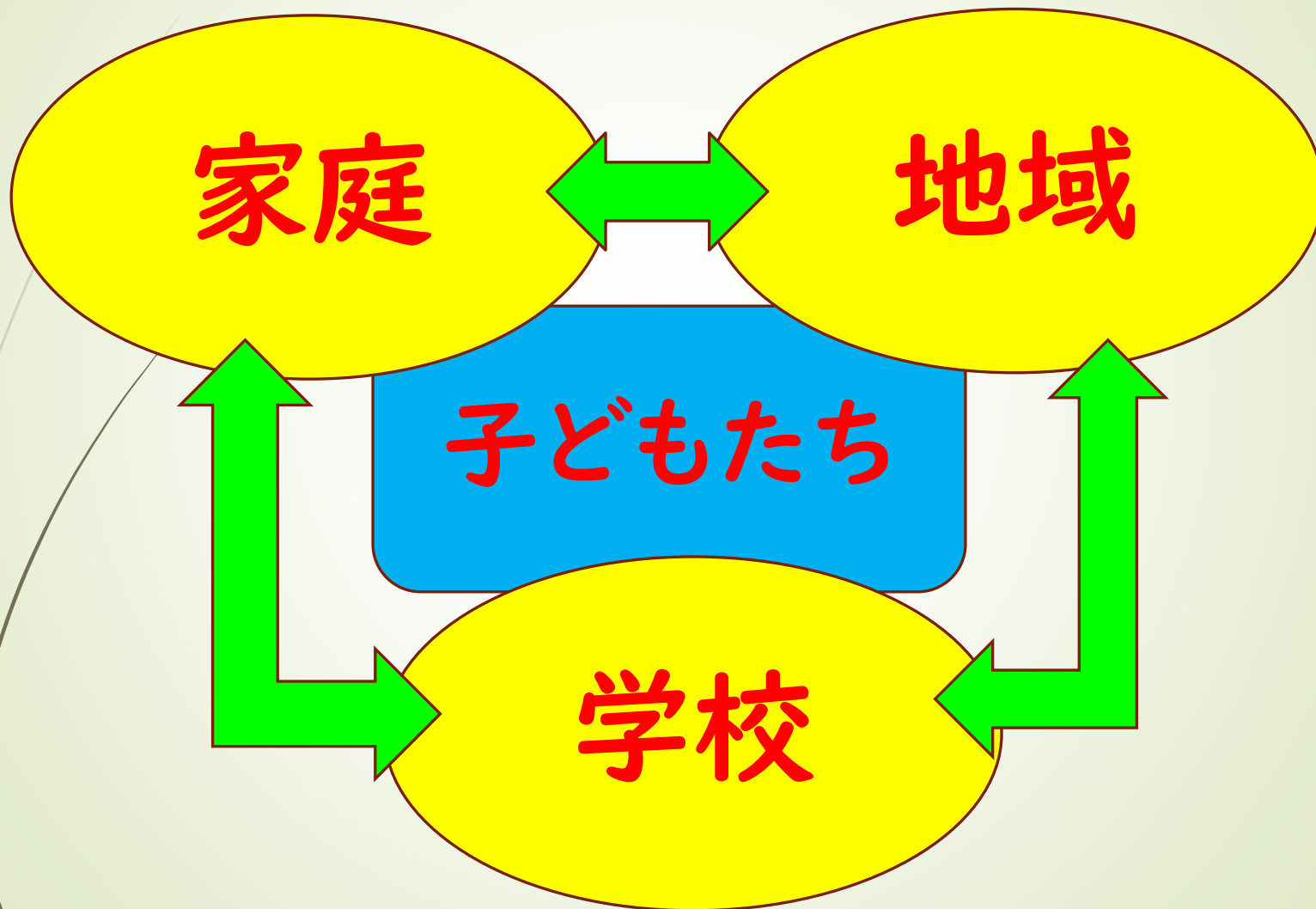
小学校入学期の
「スタートカリキュラム」

幼児教育から小学校教育へ
の円滑な接続

近隣園の年長児と
1（5）年生との直接的な交流

行事見学や施設利用による
間接的な交流

3 おわりに



3 おわりに



「誰一人取り残さない教育の実現」のために
全力を尽くしてまいります。

